



大阪医学統計学セミナー 第64回

Osaka Biostatistics Seminar

7月14日 (金)
16:00~18:00



OSAKA UNIVERSITY

オンライン開催

参加ご希望の方は、前日までに
下記問い合わせ先にメールにて
お申込みください。

2剤併用がん第1相試験における 修正コピュラ型モデルを用いた用量探索法

講演者：橋詰 公一
ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社

概要：

2剤併用療法のがん第1相試験の主な目的は、最大耐量 (Maximum Tolerated Dose; MTD) を同定することである。MTDは、毒性を許容できる最大の用量と定義される。MTDを同定するため、統計モデルを用いた用量探索法が数多く提案されている。統計モデルの一つであるコピュラ型モデルは、単剤試験で得られた毒性発現データ (単剤試験データ) を2剤併用時の毒性確率の推定に自然な形で利用できるため、汎用性が高い。しかしながら、2剤に強い交互作用が存在する場合、同時確率の推定に偏りが生じ、その結果として、MTDの同定割合が低くなることが報告されている。本発表では、広域な交互作用を表現できる修正コピュラ型モデルを用いた用量探索法 (提案法) を紹介する。また、単剤試験データと2剤併用試験データの不均一性が試験デザインの性能に与える影響を明らかにし、提案法が実務上有用であることを報告する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座
E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301